

# 汐風を食べてみませんか。

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきました

## 仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーンがスタートします！

毎年恒例となった仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーンが、今年も10月から12月にかけて開催されます。「美味しい国・伊達な旅」をテーマに、平成19年度のプレDCから始まり、今年で4年目を迎えます。

この取り組みでは、老若男女を問わず「観光」というひとつの手段を通じて、県内各地で楽しく地域づくりが進められているようです。

南三陸町の様々な魅力を結集して、この秋も多くのお客さんに南三陸時間を過ごしていただきたいと考えています。皆さんも「南三陸ならではのおもてなしの心」で、魅力発見に参加してみませんか？

## 南三陸・秋旅2010

※各種ツアーに関する申し込み・問い合わせは、産業振興課観光振興係または南三陸時間旅行サポートセンター（☎47-2550）まで問い合わせください。

### ツリーハウスで遊ぼうプロジェクト！

秋の澄んだ空気の中、里山に立ち並ぶツリーハウスで、自然観察会や草木を利用したクラフト作り、芋煮会などを楽しんでみませんか？

◇期日 10月9日(土)、10月23日(土)

◇料金 1人3,500円(大人・子ども同額)

◇内容

#### 【10月9日(土)コース】

ひころの里駐車場集合(10:00)⇒自然観察会⇒ツリーハウス⇒里山クラフト体験⇒ひころの里松笠屋敷見学⇒解散(15:00)

#### 【10月23日(土)コース】

ひころの里駐車場集合(10:00)⇒きのご狩り⇒ツリーハウス⇒里山料理教室⇒自然観察会⇒ひころの里松笠屋敷見学⇒解散(15:00)

※天候などにより内容が変更になる場合がありますのでご了承ください。



### 海原散歩・志津川湾シーカヤックツアー

海・山・里・人が共存する南三陸町をフィールドに、シーカヤックを満喫するプランです。子ども会など団体での利用も可能です。

◇開催期間 6月中旬～10月末まで

◇料金 2名まで6,000円、3名から5,000円

(大人・子ども同額)

※2名以上で申し込みください。

※料金には、カヤック・パドル・マリンシューズ・ライフジャケットのレンタル料・保険料・インストラクター料が含まれます。

◇内容

サンオーレそではま集合⇒オリエンテーション・準備⇒志津川湾島巡り

このほかにも「開校！南三陸自然塾」や「旬の力を食べよう！」など、魅力たっぷりのイベントが目白押しです。また、1周年を迎える「南三陸キラキラ丼」など、秋から冬にかけては旬の食材もイチオシです！この機会にぜひ皆さんも地元の魅力にふれてみてはいかがでしょうか？



この秋登場の「キラキラ秋旨丼」



### 南三陸時間旅行サポートセンターからのお知らせ

## ガイドサークル「汐風」で、南三陸の魅力にもう一度ふれてみませんか？

ガイドサークル「汐風」では、地域資源の掘り起こしと磨き上げを目的に、様々な活動を行っています。会員は随時募集していますので、興味のある方は、ぜひ定例会に参加してみませんか？お待ちしております！

|           |                                     |
|-----------|-------------------------------------|
| 9月14日(火)  | 定例活動「ガイド研修会～天平ろまんを訪ねて～」(10:00～涌谷町)  |
| 10月12日(火) | 定例活動「南三陸の今昔」(19:00～街なか交流館)          |
| 10月31日(日) | 産業フェア志津川会場での観光案内(時間未定：志津川魚市場)       |
| 11月9日(火)  | 定例活動「町内探訪」(10:00～町内) ※予定            |
| 12月14日(火) | 定例活動「街歩きマップを作ろう！」(19:00～街なか交流館) ※予定 |

## 庄内の風<sup>48</sup>

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

### 2泊3日の小学生交流事業in南三陸町

今年で18回目を迎える南三陸町と庄内町の小学生交流事業が、7月27日(火)から7月29日(木)までの3日間、平成の森を主会場に行われ、南三陸町と庄内町の小学5～6年生71名と中高生ボランティア30名のあわせて101名が交流を行いました。

初日は、緊張の面持ちの子どもたちでしたが、オリエンテーションや野外炊飯をとおして、どんどん周りの友達と話せるようになりました。特に、



庄内町では体験することができない地引網体験や湾内クルージングは、子どもたちの良い思い出に残るものとなったようです。お別れの時には、

仲良くなった子どもたちが「今日の夜、絶対電話するから」などという声もあり、新たな友情が育まれた交流事業となりました。

この事業は、南三陸町と庄内町が毎年会場を換えて実施しているもので、来年は庄内町を会場に行われます。



### 夢大使 リレー通信<sup>50</sup>

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。

今回は、牡蠣ツアー主催者の平野恭子さん(旧姓：遠藤)です。

※平野さんは、今年6月に結婚されました。おめでとうございます。

### 続ける力

#### 夢大使

平野 恭子さん  
(東京都世田谷区)



8月7日に行われた南三陸町夏まつり。昨年は7人の友人と、そして今年は主人と二人で訪れた。私が小さい頃は、自宅前の通り(現おさかな通り)にたくさんの出店が並び、お祭りの間はいつもより多めにもらったお小遣いで、その端から端までを何往復したかわからない。そして、形は少しずつ変われど、大人になった今も、海辺に座りわくわくしながら火花を鑑賞できることに、非常に深い感慨を覚えている。

続ける、といえば、私が手がける牡蠣ツアーも昨年で6年目をむかえた。その間、延べ200人近い友人が南三陸町を訪れ、町の中で作業を体験したり、海産物に舌鼓をうった。開催する側が驚くほどの好奇心をもって、みんなが楽しんでくれる時間。自分でも知らない故郷の魅力を気づかせてくれるこのツアー、しんどいこともあるけれど「やっていたよかった」と思うことも沢山ある。

今年の2月、チリで起きた大地震の影響で津波警報が出された際、私の元には、何本もの心配するメールが来た。さらには、水産関係に被害が出たことが報道されると、「お世話になった方々に何かしたい」とそんな声が上がると、10日間で予想だにしない金額の義捐金が集まった。それで、復旧作業中の休憩の足しにしてもらえればと、

ツアーでお世話になった方々に少しばかりの差し入れをさせていただいた。また、チリ大使館へも寄付ができた。チリ大使宛に手紙を書き、50年前のチリ津波で被害を受け、その関係でモアイ・コンドル像が送られた町の出身であることを告げると「その気持ちに非常に感激し感謝する」との返信があった。

町おこしにつながれば。私の最初の想いと別々のところで、こんな風に人と人のつながりが生まれていることに、不謹慎ではあるけれどもうれしかった。私一人では想いのままで終わっていたこと、だと思ふ。心配する気持ちはあっても、行動までは移せなかっただろう。

思いを語ることは簡単。でもそれを行動に移すことは、100倍以上のエネルギーを必要とする。さらには、その行動を持続できるか。それが大切だ。続けることで、よく知ってもらい、もっと別のこともできるんじゃないか、という視点が生まれる。何よりも、協力者に出会う。

#### 「継続は力なり」

継続することの大切さを表す言葉であり、継続できることがひとつの武器でもあるという言葉。この言葉を胸に、これからの自分の想いを形にし続ける活動をしていきたいと思う。